

平成 25 年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会「静岡大会」

定時総会並びに研究発表会「静岡大会」実行委員会

平成 25 年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会を、下記の要領で開催いたしますのでお知らせします。多数のご参加と研究発表をお願いいたします。**研究発表会要領に関する問い合わせ先について、前号でのご案内から変更がございます。再度ご確認くださいませよう願いたします。**なお、「砂防学会研究発表会」は技術士 CPD (継続教育) 履修実績として申請することができます。(技術士 CPD に関するお問い合わせ先：学会事務局 TEL 03-3222-0747)

I. 平成 25 年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会「静岡大会」実施要領

1. 期 日 平成 25 年 5 月 29 日(水)～31 日(金)
2. 会 場 静岡市民文化会館 他
(〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町 2 番 90 号 TEL:054-251-3751(代))
3. 日 程 (下記日程表のとおり)

	8:00	9:00	9:45	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	17:45	18:30	20:30
5月29日(水)		受付	総会	特別講演	昼食	企画セッション	コアタイム	研究発表会 企画セッション			休憩	意見 交換会	
					ポスターセッション・企業展示・行政展示								
5月30日(木)		研究発表会			昼食	コアタイム	研究発表会						
		ポスターセッション・企業展示・行政展示											
5月31日(金)		現地研修会(8:30～16:00/16:20,2コースから選択)											

特別講演、企画セッションを市民に公開します。

4. 現地研修会

- ◎Aコース(富士山周辺：富士山砂防、急傾斜、新東名ネオパーサ他)
 - ◎Bコース(伊豆周辺：狩野川砂防、治山、地震防災センター、伊豆ジオパーク他)
- この機会に是非ご参加下さい。詳細については、後述の「現地研修会」の項をご覧ください。

5. 参加費

- ・一般会員 7,000 円 (非会員 10,000 円)
- ・学生会員 3,500 円 (非会員 5,000 円)
- 意見交換会費 6,000 円
- 現地研修会費

Aコース 3,000 円 (昼食代含む)

Bコース 5,000 円 (昼食代含む)

注：参加費は全額前納とし、返却はいたしません。

6. 参加および宿泊等申し込み

研究発表会、現地研修会、宿泊、意見交換会等の参加申込みにつきましては、「静岡大会実行委員会」より(株)JTB 中部 静岡支店に受付業務を委託しております。**概要集掲載原稿の投稿を行った方も必ず参加申し込みを行って下さい。**

詳細については、後述の

- ・参加及び宿泊のご案内
- ・お申し込み方法等のご案内
- ・参加および宿泊等お申し込み書の項をご覧ください。

7. 「静岡大会」実行委員会

- | | | |
|-----|-------|-----------------------|
| 委員長 | 土屋 智 | 静岡大学農学部 |
| 委員 | 逢坂 興宏 | 静岡大学農学部 |
| 委員 | 牛山 素行 | 静岡大学防災総合センター |
| 委員 | 今泉 文寿 | 静岡大学農学部 |
| 委員 | 山内三津雄 | 林野庁関東森林管理局治山課 |
| 委員 | 久保 宜之 | 国土交通省中部地方整備局河川部河川計画課 |
| 委員 | 青島 正明 | 静岡県交通基盤部森林保全課 |
| 委員 | 八木 正道 | 静岡県交通基盤部砂防課 |
| 委員 | 片井 祐之 | 静岡市建設局土木部河川課 |
| 委員 | 土屋 靖司 | 斜面防災対策技術協会
中部静岡県支部 |
| 委員 | 松浦 好樹 | 静岡県地質調査業協会 |
| 委員 | 齋 秀 | (一社) 静岡県建設コンサル
ツ協会 |
| 委員 | 伊藤 孝 | (一社) 静岡県建設業協会 |
| 委員 | 阿部 宗平 | (公社) 砂防学会 |

8. 会場までの交通機関

- 詳細については、後述の
- ・会場までの交通アクセス案内図
 - ・会場・宿泊ホテルマップ
- の項をご覧ください。

9. お問い合わせ先

平成 25 年度(公社)砂防学会定時総会並びに
研究発表会「静岡大会」実行委員会事務局

〒420-8601 静岡市葵区追手町 9-6
静岡県交通基盤部砂防課内 西川・佐野・村松
TEL：054-221-3041(直通)FAX：054-221-3564

II. 平成 25 年度砂防学会研究発表会要領

1. 発表者の資格

発表者は、発表申込時点と研究発表時点において砂防学会の個人の正会員か学生会員に限ります

(グループでの発表の場合は、**発表者が会員**であることが必要です)。なお、発表者とは、口頭発表の場合は、実際に会場において口頭で発表する者(1名)を指し、ポスター発表では、コアタイムに実際に説明する者(1名)を指します。原則として、発表者としての発表件数は口頭発表もしくはポスター発表のどちらか一件とします(なお発表者以外の共著者の場合はこの限りではありません)。

また、企画セッションについては、重複制限から除外するものとします。

2. 発表内容

土石流、地すべり、がけ崩れ、深層崩壊、表面侵食、地震や火山噴火に起因した土砂流出等の土砂災害およびそれらの防止工事、斜面緑化、森林水文、森林が土砂流出に与える影響、土砂災害減災と生態系保全、砂防の社会的評価に関するもので、原則として学会等に未発表のものに限ります。

3. 発表方法

企画セッションおよび一般口頭発表は、パソコン接続のプロジェクターのみで行います。発表者は、USB メモリーか CD にファイルを格納して持参して下さい。パソコンを持ち込まれても構いません。OHP およびスライドは使用できません。パソコンの OS は Windows 7、ソフトは Power Point 2010 です。発表前にパソコン等で動作確認をしておいて下さい。

4. 特別講演

笠原順三(東京大学名誉教授)

演題：地震波精密人工震源を用いた地下の連続監視技術とその応用

5. 企画セッション

平成 25 年度研究発表会では、一般口頭発表並びにポスターセッションの他に、以下に示す 3 課題の企画セッションを設定いたします。

1) 大規模地震と土砂災害

コーディネーター：千木良雅弘(京都大学)

セッションの趣旨：

我が国では東海・東南海・南海地震など大規模地震の発生が想定されており、これらが連動した場合に、東北地方太平洋沖地震のような広範囲にわたる被害をもたらす可能性が指摘されている。また、これまで中越地震、岩手・宮城内陸地震などの地震では、天然ダムの形成や崩壊の多発など、激甚な土砂災害が発生するとともに、地盤の緩みにより、その後の降雨で新たな崩壊や崩壊の拡大、

土砂災害の発生等が記録されている。本セッションでは、地震と土砂災害の関係について、最新の調査研究事例を報告し、今後の大規模地震における土砂災害対策等のあり方について議論する。

2) 局地的大雨(ゲリラ豪雨)による土砂災害のメカニズムと今後の警戒避難対策

コーディネーター：藤田正治(京都大学)

セッションの趣旨：

近年、我が国では短時間で局地的な大雨(ゲリラ豪雨)による被害が相次いで発生している。今後、地球温暖化による蒸発散量の増加や平均気温の上昇に伴ってゲリラ豪雨の発生頻度が高くなる可能性が考えられる。本セッションでは、ゲリラ豪雨による土砂災害のメカニズムやゲリラ豪雨を捉えるための技術の動向、現在運用されている土砂災害警戒情報の運用実態や斜面对策の現状から見られる課題と今後の対策を考える。

3) 砂防施設の長寿命化・機能向上について

コーディネーター：水野秀明(筑波大学)

セッションの趣旨：

建設から数十年が経過し、老朽化した砂防施設や現行基準を満たさない砂防施設に対して、既存ストックの有効活用の観点から補修・補強による長寿命化が求められている。また、一方、深層崩壊に起因する大規模土砂災害に備えたハード対策においても、既存砂防施設の補強などの機能向上が求められている。本セッションでは、これら砂防施設の長寿命化・機能向上に関する調査・解析・設計・施工などの技術課題や改善方法について議論する。

6. 若手優秀発表賞

本大会では、優れた調査研究を行い口頭発表した若手学会員(平成 25 年 4 月 1 日現在 35 才以下)を対象として、その功績を称えるとともに、若手学会員の研究意欲の高揚と砂防に関する調査研究の進展を目的として、砂防学会研究発表会若手優秀発表賞を設けます。審査を希望される方は、原稿投稿システムの申し込み時に「若手優秀発表ノミネート」項目にチェックして下さい。

7. 発表申し込み

本大会の発表申し込みは、平成 24 年度高知大会と同様に、**すべて原稿投稿システムによりオンラインで受け付けます**。原稿投稿システムには、砂防学会ホームページ内「砂防学会研究発表会・シンポジウム」の「平成 25 年度研究発表会(静岡)」(<http://www.jsece.or.jp/indexj.html>)からアクセスできます。電子メールやはがきによる申し込みは受け付けませんので、ご注意ください。**発表申し込みの締め切りは、平成 25 年 2 月 15 日(金)**とさせていただきます。

なお、発表申し込みを行っても参加申し込みにはなりません。**参加申し込みは別途行って下さい**。

8. 概要集掲載原稿の投稿

概要集掲載原稿の投稿も、すべて原稿投稿システムによりオンラインで受け付けます。下記の原稿作成要領に従って原稿を作成し、PDF 型式 (2MB 以下) に変換して投稿して下さい。ポスターセッションによる発表についても概要集掲載が必要です。**提出期限は、平成 25 年 4 月 5 日 (金) (厳守)** です。提出期限以降は受け付けられません。

III. 砂防学会研究発表会概要集原稿作成要領

「静岡大会」では**完成原稿は PDF 入稿とします**。ミスプリント防止のために、PDF ファイルの原稿をそのまま縮写 (95%) し、印刷の上、概要集を作成しますので、以下の諸点に留意のうえ鮮明な原稿を提出願います。

1. 原稿書体

原稿は原則として、ワープロ打ちもしくはタイプライター打ちとして下さい。

2. 原稿用紙及び文字のサイズ

A4 版用紙を用い、余白として、上 15 mm、下 25 mm、左 20 mm、右 10 mm を確保して下さい。なお、プリンタの都合によっては上下の余白の和が 40 mm 程度、左右の余白の和が 30 mm 程度であれば良いものとします。これにより、原稿が横 180 mm、縦 257 mm の範囲内に収まるように作成して下さい。

1 行の文字数及び 1 ページの行数は自由とします。ただし、文字のサイズは 10 ポイント (14 級) 以上とします。

3. 原稿枚数

2 枚とします。1 枚あるいは 3 枚以上は受け付けません。

4. 題名及び氏名

題名は第 1 行目の中央に書き、1 行あけて所属、発表者名 (連名の場合は発表者の先頭に○印を付ける) を右側に寄せて書いて下さい。題名は本文よりやや大きめに書いて下さい。1 行あけて本文を書き始めて下さい。

5. 使用する文字

使用する文字、仮名遣いは、原則として「常用漢字表」、「現代仮名遣い」に従って書いて下さい。

6. 改行

改行した場合の次の行は、必ず 1 字あけて書き始めて下さい。

るので、期限厳守をお願いいたします。

なお、投稿を行っても参加申し込みにはなりません。**参加申し込みは別途行って下さい。**

9. 研究発表要領に関する問い合わせ

静岡大学農学部環境森林科学科

今泉 文寿

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836

TEL : 054-238-4845 afimaiz@ipc.shizuoka.ac.jp

7. 文字の割付

句読点、()、:、引用記号及び 1 桁のアラビア数字には 1 マスをあて、アルファベット及び 2 桁以上のアラビア数字には 2 字で 1 マスをあてて下さい。

8. 見出し番号

本文の章、節等には次の記号を使用して下さい。

章 1、2、3

節 1.1、1.2、1.3

節以下 1.1.1、1.1.2、1.1.3

9. 参考文献

内容に関係のある参考文献を最後にあげて下さい。

10. 図表

図表はすべてクリアにし、原則として本文の間の所定の位置に挿入して下さい。図表等の左右に余白ができたときは、その部分にも本文を記入して下さい。

11. 写真

写真を使用する場合は、白黒印刷にも耐える鮮明なものとして下さい。また、図表と同様、原則として本文の所定の位置に挿入して下さい。

12. 原稿の PDF 化と取扱い

完成した原稿は、PDF 化ソフト (例えば Adobe 社 Acrobat 等) を用いて PDF ファイルにして下さい。原稿にはページ番号を入れないで下さい。

なお、PDF 化された原稿からそのまま概要集を作成しますので、不鮮明なものについては、再提出をお願いすることがあります。ご了承下さい。

13. 原稿作成要領に関する問い合わせ

逢坂 興宏

静岡大学農学部環境森林科学科

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836

TEL : 054-238-4847 afoousa@ipc.shizuoka.ac.jp

IV. ポスターセッション掲示

ポスター発表 1 件あたりのポスター掲示範囲の大きさは、幅 90cm、高さ 180cm です。この範囲内でポスターを作成し、掲示して下さい。

《現地研修会》

- ◎Aコース（富士山周辺：富士山砂防、急傾斜、新東名ネオパーサ他）
◎Bコース（伊豆周辺：狩野川砂防、治山、地震防災センター、伊豆ジオパーク他）
の2コースがあります。この機会に是非ご参加下さい。

◎Aコース（富士山周辺：富士山砂防、急傾斜、新東名ネオパーサ他）
【参加費：3,000円】（内訳：バス等交通費=2,000円、昼食=1,000円）

駿府城跡観光バス駐車場	==	桂山沼側（急傾斜）	==	由比地すべり（東名PAより）	
8:30		9:15	9:35	10:20	10:50
==	富士山本宮浅間大社（昼食）	==	富士山砂防（大沢扇状地・岩樋）		
11:40	12:50	13:20		14:10	
==	新東名ネオパーサ清水	==	JR静岡駅（解散）		
14:50	15:20	16:00	頃到着		

◎Bコース（伊豆周辺：狩野川砂防、治山、地震防災センター、伊豆ジオパーク他）
【参加費：5,000円】（内訳：フェリー・バス等交通費=4,000円、昼食=1,000円）

駿府城跡観光バス駐車場	==	静岡県地震防災センター	==	清水港	~~~~	土肥港
8:30		9:00	9:50	10:20		11:45
土肥金山（昼食）	==	上船原浜井場（治山・急傾斜）	==	狩野川砂防（唐沢砂防堰堤）		
11:50	12:40	13:10	13:30	13:40		14:10
==	白鳥山柱状節理	==	JR三島駅（解散）			
14:40	15:10	16:20	頃到着			

《注意事項》

1. 各コース共、出発時刻の15分前にご集合となります。（時間厳守でお願い致します）
2. 各コース共、コース途中において昼食となります。
3. 解散地点は、AコースはJR静岡駅南口、BコースはJR三島駅北口となります。
4. 天候・道路状況・現場状況により、到着が変更になる場合があります。
（解散地点からの、帰路列車等手配の際には、時間に余裕を持って予約をお願い致します）

会場までの交通アクセス 案内図

静岡市民文化会館・静岡県総合社会福祉会館

徒歩約20分
約1.5Km

(参考)
しずてつジャストライン路線バス
JR静岡駅北口⑤⑥番のりばより
(所要約7分)
※毎時5～30本運行
@100円

静岡駅北口よりタクシー
(所要約5分)
約750円～900円程度

JR静岡駅

しずてつジャストライン
空港特急バス
(所要約60～70分)
@1000円

東海道新幹線ひかり号
約1時間(1時間に1本)
東海道新幹線こだま号
約1時間18分(1時間に2本)

富士山静岡空港
(航空機利用)

JR東京駅・JR名古屋駅

(航空機)

福岡・札幌・鹿児島・那覇
より航空機利用

全国各地よりJR利用

平成25年度 (社)砂防学会通常総会並びに研究発表会
 [参加および宿泊等]お申し込み書

お申し込み締切日
4月30日(金)

FAX送信先 (株)JTB中部 静岡支店 [FAX 054-253-4135]

[e-mail 送信先 shizuoka@cub.jtb.jp]

※どちらかに○をして下さい。

都道府県		区分	・国機関/団体 ・学校/教育	・都道府県・市町村 ・民間企業
お申込み 代表者 (お名前)	(ふりがな)	所属		
		ご連絡先 電話番号		
		ご連絡先 FAX番号		
関係書類 送付先	〒(-)			

No.	(ふりがな) お名前	性別	研究発表会 参加費 (○印記入)	宿 泊			意見 交換会	昼食(弁当)		現地研修会(5/30)	
				5/28 (火)	5/29 (水)	5/30 (木)		5/28	5/29 1,000円	5/30 1,000円	Aコース
記入 例	しずおか たろう 静岡 太郎	男 ・ 女	一般会員 一般非会員 学生会員 学生非会員	A-1	A-1	A-1	○	○	○	○	
1		男 ・ 女	一般会員 一般非会員 学生会員 学生非会員								
2		男 ・ 女	一般会員 一般非会員 学生会員 学生非会員								
3		男 ・ 女	一般会員 一般非会員 学生会員 学生非会員								
4		男 ・ 女	一般会員 一般非会員 学生会員 学生非会員								
5		男 ・ 女	一般会員 一般非会員 学生会員 学生非会員								

※ツイン(2名1室利用)の場合は、下記<連絡事項>欄に、同室者の組合せをご記入下さい。(例:○○と△△が同室)
 ※ご記入後、この用紙を、控えとして保管して下さい。
 ※人数が5名を超える場合は、この申込書をコピーしてお使い下さい。

<ホテル希望> ※必ずご記入下さい。			
第2希望		第3希望	
<連絡事項>			

◆お申し込み・お問い合わせ◆
 〒420-0859 静岡市葵区御幸町5-9 フコク生命ビル
 JTB中部 静岡支店「砂防学会」受付係
 担当 : 佐藤/望月/竹下/松永
 TEL:054(251)2398 FAX:054(253)4135
 E-mail:shizuoka@cub.jtb.jp
 営業時間 9:30~17:30 (土日・祝日休業)